

代表質問

鳥取県議会自由民主党



地域未来戦略について

問 若者や女性にも選ばれ、安心して暮らし続けられる「持続可能な鳥取県」を実現すべき。高市政権の「地域未来戦略」を踏まえ、地方創生の実現に、どう取り組むか。

答 経済と人材、国全体の偏在是正の3点セットで考えることが重要。人材と地域をセットで高めていく取組に乗り出すような「鳥取県政のモデル」をつくっていくべきと考える。

更なる関係人口の拡大

問 移住よりも比較的ハードルの低い「関係人口」の増加を通じ、地域活性化と地方創生の実現につなげていくべき。これまでの取組を振り返り、今後どのように関係

人口増加に向けた施策強化に取り組むのか。

答 これまで鳥取県では、全国初となる「関係人口室」を設置。その他、東京本部、関西本部への「とっとり歓迎案内所ウエルカニ」の設置に加え、ワーケーションの取組も拡充してきた。また、日野町等で「ふるさと住民登録制度」に取り組まれており、県も「ふるさと来しOVE（クラブ）」ととり「プロジェクト」で応援するほか、若者をターゲットとする「若者版」の作成も考えている。

男女協働未来の創造

問 固定的な性別役割分担意識「アンコンシヤス・バイアス」の解消に向け、県民と直接語り合う「みんなで話彩や（はなさいや）」を開始。ここで得られた県民の貴重な声をどう分析し、今後どのように施策に反映させるか。

答 新年度、アンコンシヤス・バイアスの解消に向けた運動の輪を地域、企業に広げ、良い実践例を支援するなど弾みをつけたい。また、A1に代替されかねない職業

は大都市に集中。経済産業省の試算によると、東京では女性の労働力も余ることが想定されている。地元へ帰る女性にとって、本当に居心地の良い地域にせねばならず、非常に大事な課題である。

防災力の向上

問 令和8年度の目玉イベントでもある「ぼうさいこくたい」の成功に向けた知事の意気込みを伺う。

答 中部地震発災から10年目に合わせ10月17日、18日に開催。一方で「防災庁」が11月に設置される公算が高い。このため、「ぼうさいこくたい」は防災庁設置に先立つイベントとなる可能性もあり「災害ケースマネジメント」などの鳥取型の防災対策を全国にアピールしながら全国と交流を深め、防災のレベルを一層上げていく。

スポーツ振興と交流

問 1年2か月後に迫った「ワールドマスターズゲームズ」に向け、大会準備や本県への観光誘客などに、どのように取り組むか。

答 スタッフ等の確保のほか、多言語化対応として、外国の方からの相談を受けるキャンプ村のようなステーションを鳥取、倉吉、米子に設置するなど準備を進める。

問 陸上のジャマイカチームから、2027年の世界陸上北京大会に向けて、鳥取県で事前キャンプを実施したいとの意向を伺っている。世界トップレベルの選手を身近に感じられる貴重な機会。今度はどういう事前キャンプの受け入れ準備を進めていけるか。

答 ジャマイカ選手と子どもたちとの触れ合いは風物詩になり始めている。また、ジャマイカからスポーツ交流員をお迎えし、学校で陸上指導していただくという成果も出ている。ジャマイカ側も熱心であるため、県陸上競技協会とも協議しながら、受入れに向けた合意も整えて、準備を本格化させたい。

障がい福祉政策

問 本県の障がい者福祉政策の評価と課題について、また、今後どのように充実していくお考えか。

答 あいサポート運動は、日本国内から韓国にまで広がっているほか、手話言語条例も616団体で可決成立。全国に誇れる取組が出来てきている。お互い就任した頃は障がい者福祉行政の転換期だったが、当時、夢見ていたことが花開いている。「福祉の心」ということを一つのモットーとして掲げながら、今後も同じ方向性で取り組みを強めていく。

代表質問

鳥取県議会議民主とっとり



第51回衆議院総選挙

問 真冬の総選挙について、地方六団体で総括をして、意見をまとめて国に訴えていく必要がある。我々なりの要請活動をする。

賃上げについて

問 春闘が本格化する中、企業規模間の賃上げ格差が拡大している。実効性のある支援策を求める。様々な需要に応じ対策する。

人権尊重社会の実現

問 昨年12月議会で人権条例が改正された。成果と課題を問う。
答 2件の相談があった。情プラ法(※1)の改善を国に申し上げる。

救急医療体制について

問 昨年7月以降、断続して連休

クを組んで進めていく。

オンライン診療

問 二つの観点からオンライン診療を加速すべき①病児保育を活用する保護者②免許返納した中山間地域で慢性病の薬を貰うお年寄り。

答 イギリスでは34%が電話・オンライン診療。国の動向を注視しつつ、中山間地域をサポートする。

民謡文化について

問 貝殻節は鳥取県を代表し、全国的に人気の高い民謡だ。民謡文化の伝承の重要性について問う。

答 関係者とよくお話しをして、貝殻節を広めて育てていきたい。

農業について

問 農地中間管理機構の集積目標52%に対し現在約30%。農地の集積に加えて、基盤整備が必要だ。

答 次世代型の水田農業加速化支援事業を本議会に提案している。

Aー革命について

問 県庁内の生産性向上のために、Aーを如何に活用するか。

答 Aーガイドラインを改定する。

鳥取駅前・護岸整備

問 鳥取駅前再整備に、県として一層関わるべきだ。小沢見海岸浸

食に、如何に市町村と連携するか。
答 駅前の多くが市の権限で、市がリードすべき。小沢見海岸は、土のうで処置をして一応安定した。

朝鑑賞・多様化学校

問 朝鑑賞を広めては。

答 (教育長) 管理職研修に組み込むことを、次年度以降検討する。
問 不登校は社会全体の課題という認識の下、公立学校への財政支援に加え、私立学校を応援すべき。

答 私学助成の仕組みを鶏鳴学園の学びの多様化学校に適用する。

湖山池天空エリア

問 11月3日に少年自然の家跡地に整備された。東部の子どもたちは、如何に野外活動を学ぶか。

答 (教育長) 天空エリアも活用し、体験活動を充実していく。

問 約11億円かけた県民の財産として、地元の皆さんの声を承り、観光地として磨きあげるべきだ。

答 新しい名所として他のエリアと一体で観光地として育てていく。

外免切替え制度(※2)

問 以前1〜2週間で済んだものが数カ月必要だ。対策を問う。
答 (警察本部長) 効率的な外免切替えの審査を実施していく。

(※1) 情プラ法…情報流通プラットフォーム対処法。SNSや動画サイトなどでの誹謗中傷や権利侵害情報への対応を強化する法律。
(※2) 外免切替え制度…外国で取得した運転免許証を日本の運転免許証に切り替える制度。